

平成27年度 外国人市民意識調査
報告書

平成28年3月
入間市市民部自治文化課
入間市国際交流協会

入間市の外国人市民の状況

全国の外国人の人口は約156万人で、そのうち埼玉県の外住者の人口は約13万人となっており、多くの外国人が埼玉県で生活をしています。

入間市の総人口は149,593人（平成28年1月1日時点）で、そのうち外国人市民は1,565人となっており、市内総人口の約1%を占めています。

市内の総人口が減少している中で外国人市民の人口は増加しており、今後も外国人市民は増加傾向にあると考えられます。外国人市民の国籍数は50か国で国籍別では中国が最も多く続いてフィリピン、韓国・朝鮮、ベトナム、ブラジルとなっています。

市内総人口と外国人市民の状況

年度	総人口	外国人登録者数	割合	総世帯数	外国人世帯数	割合
平成28年度	149,593	1,565	1.05%	63,112	646	1.02%
平成27年度	149,952	1,464	0.98%	62,439	567	0.91%
平成26年度	150,216	1,463	0.97%	61,804	567	0.92%
平成25年度	150,367	1,485	0.99%	61,162	600	0.98%
平成24年度	150,651	1,518	1.01%	61,113	1,155	1.89%
平成23年度	151,004	1,592	1.05%	60,562	1,194	1.97%
平成22年度	150,914	1,613	1.07%	59,891	1,212	2.02%

地区別居住の状況

地区	地区別総人口数	地区別外国人数	外国人市民の割合
豊岡地区	54,781	639	1.17%
東金子地区	16,840	246	1.46%
金子地区	9,923	106	1.07%
宮寺・二本木地区	11,412	181	1.59%
藤沢地区	35,045	226	0.64%
西武地区	21,592	167	0.77%
合計	149,593	1,565	

主な国籍別人口の状況

国籍	人数
中国	530
フィリピン	261
韓国・朝鮮	153
ベトナム	106
ブラジル	92
ペルー	86
タイ	61
米国	51
台湾	37
ネパール	27

調査概要

1. 調査概要

(1) 調査目的：外国人市民が必要としている市政情報や生活支援策を調査し、外国人市民の生活支援に反映させることを目的に実施します。

また、外国人市民意識調査から得られた結果は、多文化共生社会に向けた取り組みの基礎資料とします。

(2) 調査項目：基本事項、情報収集、生活支援、多文化共生の地域づくりと交流などに関する19項目

(3) 調査対象：市内在住で20歳以上の外国人市民から無作為に抽出した500人

(4) 調査実施：平成28年1月6日（水）から2月5日（金）まで

(5) 調査票：(ア) やさしい日本語と外国語（英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語）の2種類を送付しどちらか一方で回答
(イ) 選択式で、一部記述式

(6) 配布及び回収方法：郵送による配布、回収（返信用封筒同封）

2. 回答結果

調査対象者	500人（※1）
配布数	491通
回答数	129通
回答率	26.3%
やさしい日本語の回答数	79通
やさしい日本語の回答率	61.2%
外国語の回答数	50通（※2）
外国語の回答率	38.8%

※1 調査対象者の国籍数は50ヶ国

やさしい日本語の回答数（79通）のうち主な国籍別

中国	29通
フィリピン	12通
韓国	8通
台湾	6通
ベトナム	5通

外国語の回答数（50通）のうち主な国籍別

中国	12通
フィリピン	11通
米国	6通
ブラジル	5通
韓国・ペルー	4通

※ 2外国語の回答数は14ヶ国50通

※ やさしい日本語と外国語を同時に回答（返送）した場合は、やさしい日本語の回答数に含めます。

調査項目一覧

【基本事項】

質問 1	年齢	8 頁
質問 2	国籍	8 頁
質問 3	在留資格	8 頁
質問 4	在住期間	9 頁
質問 5	世帯構成	9 頁

【情報収集】

質問 6	生活情報の取得方法	10 頁
質問 7	行政情報の取得	12 頁
質問 8	行政からの希望情報	12 頁
質問 9	通訳・翻訳	14 頁

【生活支援】

質問 10	生活での問題点	15 頁
質問 11	仕事の問題点	17 頁
質問 12	病気やけがの問題点	17 頁
質問 13	子育ての問題点	18 頁
質問 14	相談相手	20 頁
質問 15	行政への要望	22 頁
質問 16	避難場所	24 頁

【多文化共生の地域づくりと交流】

質問 17	自治会へ	25 頁
質問 18 A	日本語教室	26 頁
B	外国人相談窓口	28 頁
C	外国語版市政情報紙	29 頁
D	F Mラジオ外国語放送 行政情報番組	30 頁
質問 19	地域への参加	32 頁

調査結果の特徴

1 基本事項

質問 1 年齢

当該調査の回答者の年齢構成は、市全体の外国人市民の割合とほぼ同じであるが、「20歳～29歳」の年代に限っては市全体の外国人市民の割合より約10%低く、調査への関心が低かった。

質問 2 国籍

市全体における外国人市民の国籍数は50か国で、国籍割合に応じて調査対象者を抽出した結果、調査対象となる外国人市民の国籍数は50か国となった。回答者の国籍は市全体の外国人市民の割合とほぼ同じであるが、「ネパール国籍」の回答は低かった。

質問 3 在留資格

「永住者」が全体の6割を占め、続いて「日本人の配偶者など」となっており、定住化する割合が8割を超えている。

質問 4 在住期間

滞在期間が3年以上5年未満の割合が高くなっている。続いて、16年以上、6年以上10年未満、11年以上15年未満の順となっており、長期滞在している外国人市民が多く、市内で住みやすい環境であることが推察できる。

質問 5 世帯構成

日本人（大人・子供）と同居している割合は57.4%と高く、ひとり暮らしの割合は11.6%で最も低かった。日本人と同居している外国人市民が多いことが把握できる。一方で「日本人以外」及び「一人暮らし」を合わせた外国人のみで生活している世帯は4割を占めている。各世帯で「やさしい日本語」の割合が高いが、日本人と外国人が同居する混合世帯では、すべて「外国語の回答」となっている。

2 情報収集

質問 6 生活情報の取得方法

生活に必要な情報は「インターネット」、「テレビ・ラジオ」、「友達・知人」、「家族」の項目で5割を超え自ら情報を求めている。

「IRUMA COM+COM（外国語版市政情報紙）」からの情報取得の割合が最も低かったことから提供方法を工夫する。

また、「インターネット」、「テレビ・ラジオ」以外の情報取得として、日本人と生活している外国人市民は、「家族」から情報を取得しており、外国人と生活している外国人市民は「友達・知人」から情報を取得している傾向がある。

質問 7 行政情報の取得

市役所からの情報取得では、「インターネット」の割合が5割を超え最も割合が高く、続いて「コンビニ・スーパーマーケット」、「市役所・公民館・図書館」、「駅」となっている。

「インターネット」を用いた情報提供は有効であり、利用者が取得しやすい掲載の工夫が必要となる。

質問 8 行政からの希望情報

外国人市民が必要としている情報として「年金・保険・税金・医療」のくらしに直結する情報が高い割合となった。

くらしの情報には、行政が携わる事務が多いため各部署と連携を図りながら、より分かり易い情報の提供をする必要がある。

質問 9 通訳・翻訳

「ない」の割合は約半数の45.7%と高く、必要と感じていない外国人市民が多くいる。

一方で「ある」、「ときどきある」を選択した外国人は、滞在期間が10年前後の外国人市民が通訳・翻訳を求めており、国籍別では中国籍、フィリピン国籍が多くなっている。また、同居者別で分析すると日本人のみと生活している家庭の割合が高く、中国人、フィリピン人に対応する通訳・翻訳ボランティアの充実が望まれる。

(3) 生活支援

質問 10 生活での問題点

困っている物事として「病気・けが」、「仕事」、「子どものこと」の合計で5割を超える割合となっている。年代別に生活するうえでの困っていることに特徴がある。20歳～29歳では「日本語」、30歳～39歳では「子どものこと」、40歳～49歳、50歳～59歳では「病気・けが」の割合が高く年代に応じた支援・応援策を検討する必要がある。

質問 11 仕事の問題点

仕事で困っていることの中で「給料が安い」が最も高かった。続いて「相談するところがない」、「外国人はだめと断られた」、「正社員になれない」となっている。定職に就き働きたいと思っている外国人市民がいるが、就職できない状況もあり、仕事に関する問題を抱えている外国人市民は多くいる。

質問 1 2 病気やけがの問題点

「どの病院に行けばいいかわからない」、「病院で通訳する人がほしい」、「医者の話・薬の説明がわからない」の割合が高くなっており、言葉の問題で困っている外国人市民が 4 割いる。病院についての情報提供が必要であり、病院などと連携を深めた支援・応援策が求められている。

質問 1 3 子育ての問題点

「子育てにお金がかかる」の割合が最も高く、「いじめ・差別・友達ができない」、の割合も高くなっている。

福祉保育及び教育委員会などと連携を深めた支援・応援策を検討する必要がある。

質問 1 4 相談相手

困ったときの相談者は、身内に相談する外国人市民は 8 割を占めている。また、外国人と生活している家庭では「日本人の友達・仕事の人」に相談している傾向があり日本人に相談し問題を解決している。

質問 1 5 行政への要望

「外国人相談の日や言葉を多くする」、「外国語の手紙・お知らせを多くする」の割合が最も多く、外国人相談窓口を知らない外国人市民も多いことから身内で問題解決をしている傾向にある。IRUMA COM+COM（外国語版市政情報紙）を知らない外国人市民も多いことから、外国人相談窓口や IRUMA COM+COM（外国語版市政情報紙）の周知拡大を図りながら相談日数や言語の増設を検討する必要がある。

質問 1 6 避難場所

4 割弱は避難場所を認知していない。外国人市民に向けて外国語版ハザードマップの周知について工夫をしていく。

(4) 多文化共生の地域づくりと交流

質問 1 7 自治会

入間市市民意識調査での自治会加入割合 84.8%に対して、外国人市民の自治会への加入割合は 34.1%と低い。

調査の自由意見欄では、「自治会と町内会は私の国にはなく理解して関わるが大変です。住民は外国人に多くを求めます。やらなければならないことが出来ないし（理解できないから）規則に従ないと私たちに説明するのではなく見下すような感じです。近隣の方々がいかに外国に住むことが大変なことであるかをより理解して下さることが助けになります。」という意見がある。このことから自治会にも外国人市民への受入について考える必要がある。

自治会に加入して頂くために回覧板や地域を通じた情報提供を行い、地域への積極的な参加と結びつけたい。

質問 1 8 日本語教室・外国人相談窓口・外国語版市政情報紙・FMラジオ外国語放送

「外国人相談窓口業務」や「IRUMA COM+COM（外国語版市政情報紙）」、FMチャッピー「エフビーアイ（市政情報番組）」の認知度は低いことが示された。特に「IRUMA COM+COM（外国語版市政情報紙）」の設置場所等を工夫して周知しているが、成果を挙げていないことは残念である。今回実施した調査で望んでいる「年金・保険・税金・医療」のくらしに直結する情報などを掲載するとともに、設置場所や配布方法を見直すことが最優先である。

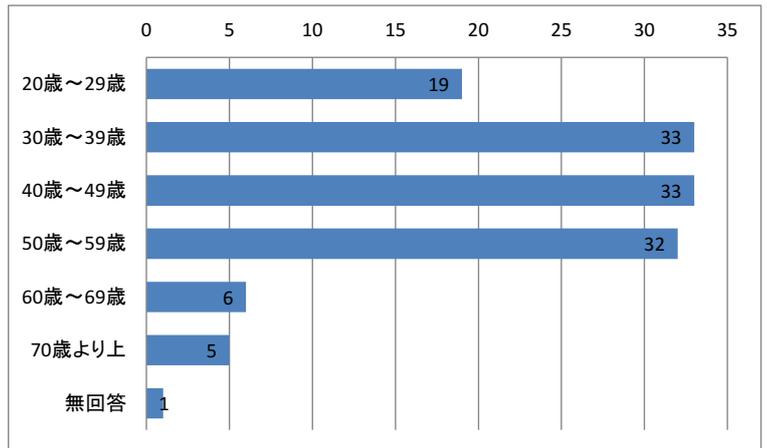
質問 1 9 地域への参加

言語や経験を生かして地域活動に関わりたいと考えている外国人市民が多くいる。特に「通訳・翻訳」、「日本に来たばかりの外国人を助けること」の割合が高くなっていることから地域への参加をしやすい仕組みを作る必要がある。

1. 基本事項

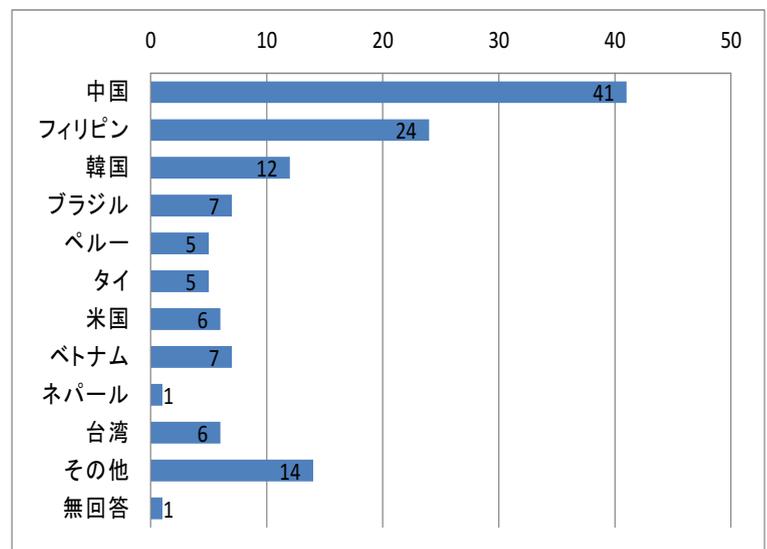
質問1 何歳ですか。

項目	回答数	割合
20歳～29歳	19	14.7%
30歳～39歳	33	25.6%
40歳～49歳	33	25.6%
50歳～59歳	32	24.8%
60歳～69歳	6	4.7%
70歳より上	5	3.9%
無回答	1	0.8%
回答者数 129人	129	100%



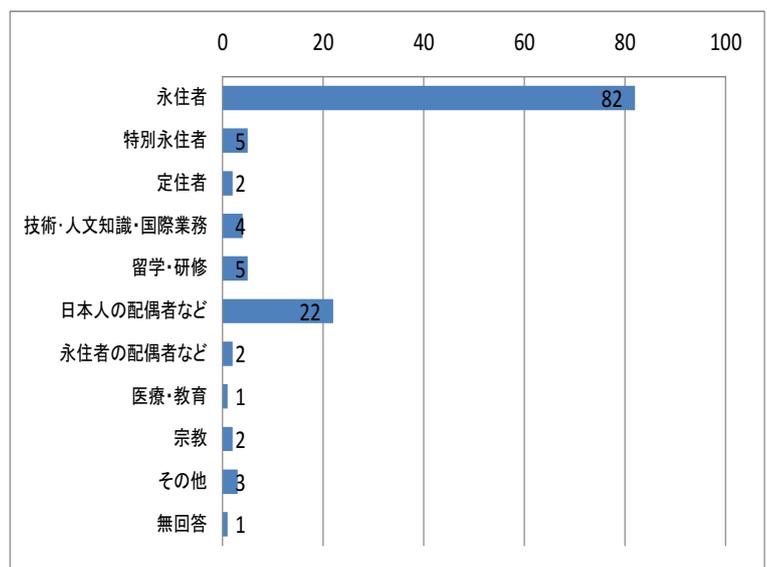
質問2 国籍はどこですか。

項目	回答数	割合
中国	41	31.8%
フィリピン	24	18.6%
韓国	12	9.3%
ブラジル	7	5.4%
ペルー	5	3.9%
タイ	5	3.9%
米国	6	4.7%
ベトナム	7	5.4%
ネパール	1	0.8%
台湾	6	4.7%
その他	14	10.9%
無回答	1	0.8%
回答者数 129人	129	100%



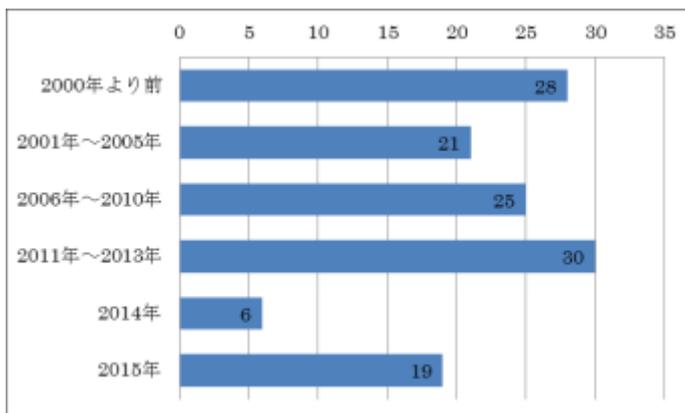
質問3 在留資格(ビザ)は何ですか。

項目	回答数	割合
永住者	82	63.6%
特別永住者	5	3.9%
定住者	2	1.6%
技術・人文知識・国際業務	4	3.1%
留学・研修	5	3.9%
日本人の配偶者など	22	17.1%
永住者の配偶者など	2	1.6%
医療・教育	1	0.8%
宗教	2	1.6%
その他	3	2.3%
回答	1	0.8%
回答者数 129人	129	100%



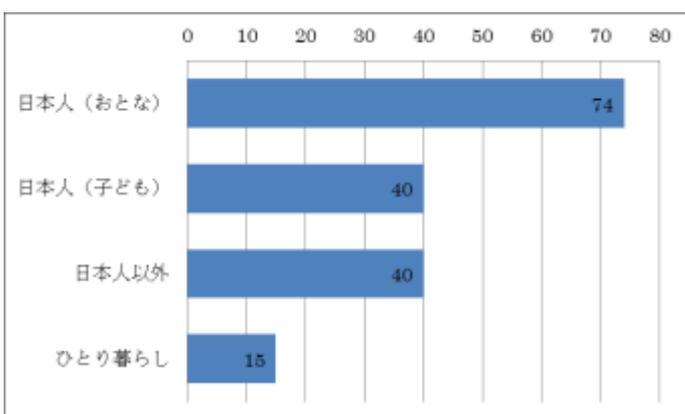
質問4 人間市にいつから住んでいますか。

項目	回答数	割合
2000年より前	28	21.7%
2001年～2005年	21	16.3%
2006年～2010年	25	19.4%
2011年～2013年	30	23.3%
2014年	6	4.7%
2015年	19	14.7%
回答者数 129人	129	100%



質問5 誰と一緒に住んでいますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
日本人(おとな)	74	57.4%
日本人(子ども)	40	31.0%
日本人以外	40	31.0%
ひとり暮らし	15	11.6%
回答者数 129人	169	100%



質問5 同居人別の回答言語の割合

項目	やさしい日本語の回答	外国語の回答
日本人と生活している家庭	51	23
外国人で生活している家庭	18	18
ひとりで暮している家庭	10	5
混合世帯	0	4
回答数/回答者数	79/129	50/129

質問5 やさしい日本語の回答者のうち「外国人で生活している家庭」と回答した18人の国籍と在留資格

中国人	8人
ブラジル人	3人
ベトナム人	3人
韓国人	2人
ペルー人	1人
その他(朝鮮人)	1人

永住者	11人
特別永住者	3人
技術・人文知識・国際業務	2人
定住者	1人
留学・研修	1人

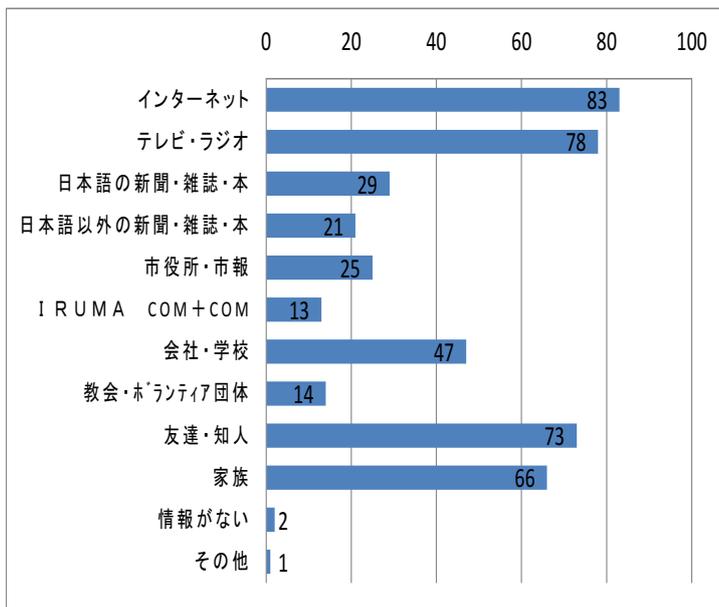
回答者の家族構成は、「日本人」と同居している割合が最も高く、「ひとり暮らし」の割合が最も低かった。

また、日本人と生活している家庭では、やさしい日本語の回答が多くなっており、家庭内で日本語での対応が出来る。外国人と生活している家庭では、やさしい日本語の回答と外国語の回答が同じ割合となっており、日本人と生活している家庭より多少低下する。

2. 情報収集

質問6 生活に必要な情報は何で知りますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
インターネット	83	18.4%
テレビ・ラジオ	78	17.3%
日本語の新聞・雑誌・本	29	6.4%
日本語以外の新聞・雑誌・本	21	4.6%
市役所・市報	25	5.5%
IRUMA COM+COM	13	2.9%
会社・学校	47	10.4%
教会・ボランティア団体	14	3.1%
友達・知人	73	16.2%
家族	66	14.6%
情報がない	2	0.4%
その他	1	0.2%
回答者数 129 人	452	100.0%



質問6 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
インターネット	15	22	21	20	1	2
テレビ・ラジオ	9	17	19	24	6	2
日本語の新聞・雑誌・本	3	6	5	10	2	2
日本語以外の新聞・雑誌・本	4	3	3	9	1	1
市役所・市報	5	5	4	8	2	1
IRUMA COM+COM	2	2	5	3	0	1
会社・学校	11	10	13	10	2	0
教会・ボランティア団体	2	4	3	4	0	1
友達・知人	12	19	18	19	3	2
家族	8	15	21	17	2	2
情報がない	1	0	0	1	0	0
その他	0	1	0	0	0	0
回答数/回答者数	72/19	104/33	112/33	125/32	19/6	14/5

※回答数と回答者数の合計数値が異なりますが、年代別の無回答者を除いています。

質問6 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答	外国語の回答
インターネット	50	33
テレビ・ラジオ	53	25
日本語の新聞・雑誌・本	23	6
日本語以外の新聞・雑誌・本	13	8
市役所・市報	18	7
IRUMA COM+COM	7	6
会社・学校	32	15
教会・ボランティア団体	5	9
友達・知人	40	33
家族	46	20
情報がない	2	0
その他	1	0
回答数/回答者数	290/79	162/50

質問6 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
インターネット	44	27	9	3
テレビ・ラジオ	47	22	6	3
日本語の新聞・雑誌・本	15	10	3	1
日本語以外の新聞・雑誌・本	5	11	4	1
市役所・市報	15	5	4	1
IRUMA COM+COM	5	4	3	1
会社・学校	17	18	8	4
教会・ボランティア団体	4	7	2	1
友達・知人	36	26	9	2
家族	43	16	3	4
情報がない	1	1	0	0
その他	1	0	0	0
回答数/回答者数	233/74	147/36	51/15	21/4

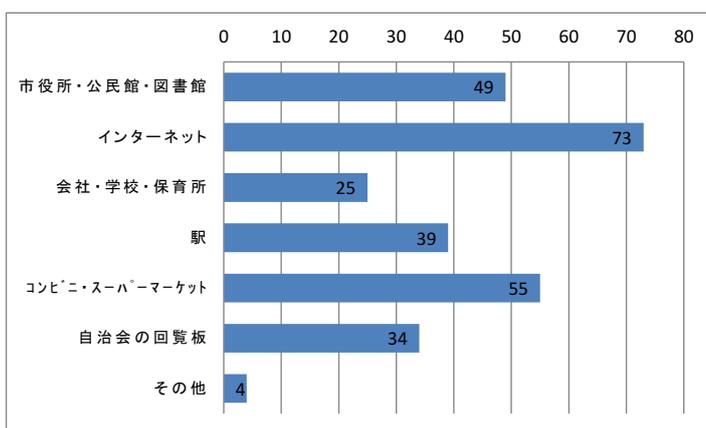
「インターネット」を用いた情報収集の割合が高くなっている。「インターネット」を除く年代別の20歳～29歳、30歳～39歳では「友達・知人」の割合が高く、40歳～49歳では「家族」の割合は高くなる。また、50歳～59歳では「テレビ・ラジオ」が高く、生活状況によって情報収集は異なる。

回答言語別では、やさしい日本語の回答は「テレビ・ラジオ」から日本語の情報収集が出来ており、外国語の回答者は「友人・知人」となっており、日本語での情報収集は低い可能性がある。

同居者別でも日本人と生活している家庭は、日本語での情報収集の割合が高く、外国人と生活している家庭は「友人・知人」となっており、日本語での情報収集は低い可能性がある。

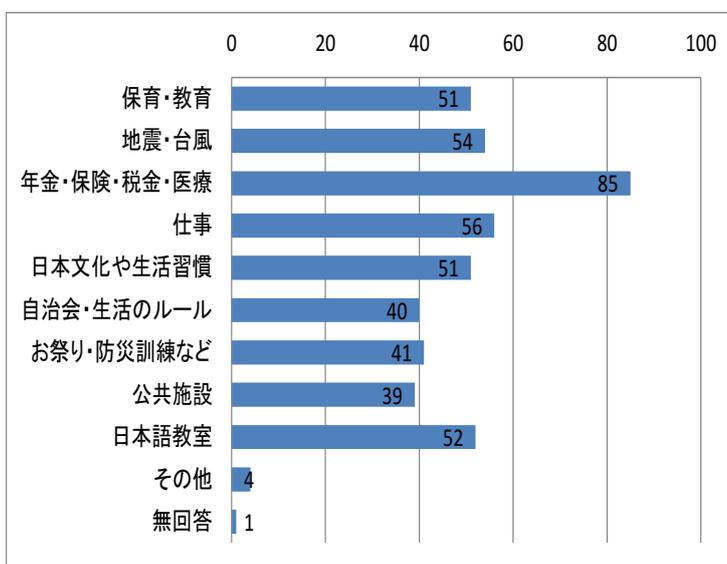
質問7 入間市役所からの情報がどこにあったら便利ですか。(複数回答)

項目	回答数	割合
市役所・公民館・図書館	49	17.6%
インターネット	73	26.2%
会社・学校・保育所	25	9.0%
駅	39	14.0%
コンビニ・スーパーマーケット	55	19.7%
自治会の回覧板	34	12.2%
その他	4	1.4%
回答者数 129 人	279	100%



質問8 入間市役所からどんな情報がほしいですか。(複数回答)

項目	回答数	割合
保育・教育	51	10.8%
地震・台風	54	11.4%
年金・保険・税金・医療	85	17.9%
仕事	56	11.8%
日本文化や生活習慣	51	10.8%
自治会・生活のルール	40	8.4%
お祭り・防災訓練など	41	8.6%
公共施設	39	8.2%
日本語教室	52	11.0%
その他	4	0.8%
無回答	1	0.2%
回答者数 129 人	474	100%



質問8 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
保育・教育	8	22	17	4	0	0
地震・台風	6	15	16	15	1	0
年金・保険・税金・医療	13	20	20	21	6	4
仕事	9	18	15	10	2	2
日本文化や生活習慣	7	14	14	11	2	2
自治会・生活のルール	4	12	13	9	2	0
お祭り・防災訓練など	9	15	9	7	1	0
公共施設	3	10	15	8	2	1
日本語教室	6	16	16	11	2	0
その他	0	2	1	0	0	1
回答数/回答者数	65/19	144/33	136/33	97/32	18/6	10/5

質問8 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
保育・教育	36	15
地震・台風	34	20
年金・保険・税金・医療	51	34
仕事	36	20
日本文化や生活習慣	31	20
自治会・生活のルール	22	18
お祭り・防災訓練など	25	16
公共施設	21	18
日本語教室	21	31
その他	4	0
無回答	1	0
回答数/回答者数	282/79	192/50

質問8 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
保育・教育	35	14	1	1
地震・台風	34	15	4	1
年金・保険・税金・医療	46	24	11	4
仕事	36	15	5	0
日本文化や生活習慣	29	15	5	2
自治会・生活のルール	23	11	2	4
お祭り・防災訓練など	20	16	4	1
公共施設	21	10	5	3
日本語教室	29	17	3	3
その他	3	1	0	0
無回答	0	1	0	0
回答数/回答者数	276/74	139/36	40/15	19/4

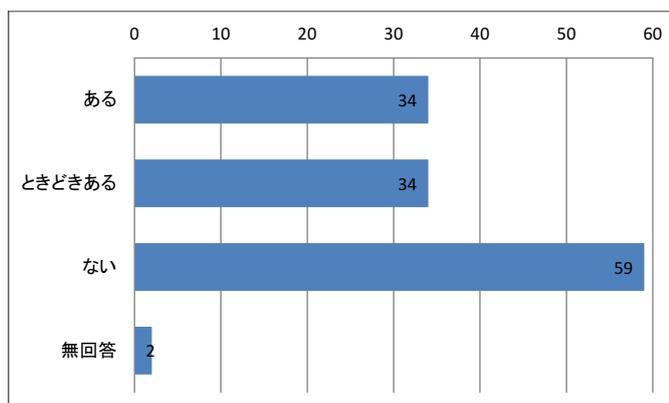
市役所から求める情報は「年金・保険・税金・医療」の割合が最も高く外国人市民の多くが求めている。回答者数が129人中474の複数回答があり様々な情報を求めている。

年代は問わず「年金・保険・税金・医療」分野に伴う暮らしの情報を求めている。特に30歳～39歳、40歳～49歳の複数回答では「保育・教育」の割合も高くなっている。

回答言語別及び同居者別でも「年金・保険・税金・医療」の割合が高い。外国語の回答者は「日本語教室」の割合が高くなっており、日本語を学ぶ環境を求めていることが伺える。

質問9 通訳や翻訳のサービスがあったら頼みたいことはありますか。

項目	回答数	割合
ある	34	26.4%
ときどきある	34	26.4%
ない	59	45.7%
無回答	2	1.6%
回答者数 129 人	129	100.0%



質問9 在住期間別の割合

項目	2000年より前	2001年～	2006年～	2011年～	2014年	2015年
ある	5	7	10	8	1	3
ときどきある	7	4	9	7	1	6

質問9 国籍別の割合

項目	中国	フィリピン	韓国	ブラジル	ペルー	タイ	米国	ベトナム	ネパール	台湾	その他
ある	10	9	1	3	1	1	2	1	0	0	6
ときどきある	9	8	4	4	2	2	0	2	0	1	2

質問9 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
ある	24	5	3	2
ときどきある	16	11	5	2

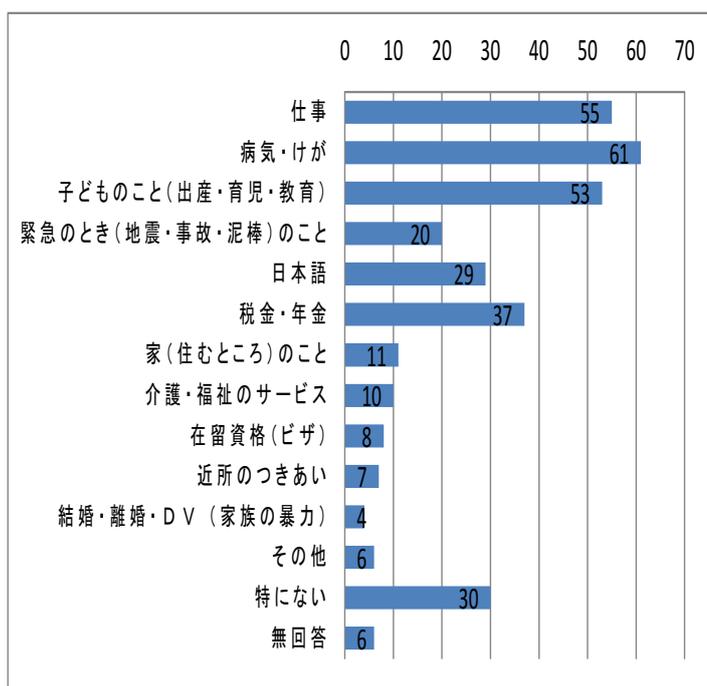
「ない」を選択した外国人市民は、129人のうち59人(45.7%)で必要と感じていない外国人が多くいる。

一方で「ある」、「ときどきある」を選択した外国人市民の回答者は68人(52.8%)であり、主に10年前後滞在している外国人市民が必要としており、国籍別では中国籍、フィリピン国籍が多くなっている。また、同居者別では日本人と生活している家庭の割合が高かった。

3. 生活支援

質問10 困っていることはありますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
仕事	55	16.3%
病気・けが	61	18.1%
子どものこと(出産・育児・教育)	53	15.7%
緊急のとき(地震・事故・泥棒)のこと	20	5.9%
日本語	29	8.6%
税金・年金	37	11.0%
家(住むところ)のこと	11	3.3%
介護・福祉のサービス	10	3.0%
在留資格(ビザ)	8	2.4%
近所のつきあい	7	2.1%
結婚・離婚・DV(家族の暴力)	4	1.2%
その他	6	1.8%
特にない	30	8.9%
無回答	6	1.8%
回答者数 129人	337	100%



質問10 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
仕事	6	17	15	13	2	1
病気・けが	4	21	16	15	2	3
子どものこと(出産・育児・教育)	5	25	14	7	1	1
緊急のとき(地震・事故・泥棒)のこと	3	7	4	4	0	1
日本語	9	9	4	5	1	1
税金・年金	7	7	9	10	2	1
家(住むところ)のこと	2	1	4	3	1	0
介護・福祉のサービス	0	3	2	3	1	0
在留資格(ビザ)	1	3	2	2	0	0
近所のつきあい	0	2	2	2	0	0
結婚・離婚・DV(家族の暴力)	1	1	1	1	0	0
その他	1	2	2	1	0	0
特にない	2	7	8	10	1	1
無回答			2	2	2	1
回答数/回答者数	41/19	105/33	85/33	78/32	13/6	10/5

質問10 回答言語別の割合

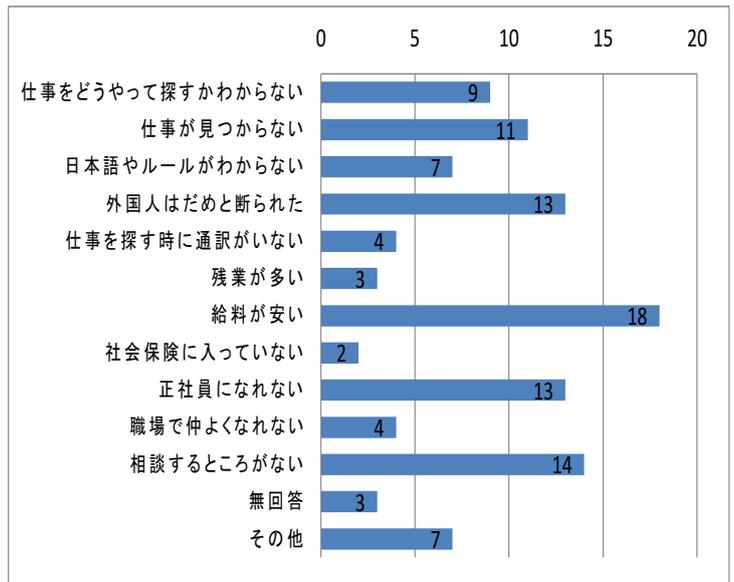
項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
仕事	30	25
病気・けが	31	30
子どものこと(出産・育児・教育)	30	23
緊急のとき(地震・事故・泥棒)のこと	14	6
日本語	11	18
税金・年金	23	14
家(住むところ)のこと	5	6
介護・福祉のサービス	5	5
在留資格(ビザ)	6	2
近所のつきあい	4	3
結婚・離婚・DV(家族の暴力)	2	2
その他	2	4
特にない	22	8
無回答	4	2
回答数/回答者数	189/79	148/50

質問10 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
仕事	36	14	3	2
病気・けが	36	15	7	3
子どものこと(出産・育児・教育)	37	15	0	1
緊急のとき(地震・事故・泥棒)のこと	14	4	1	1
日本語	13	9	7	0
税金・年金	16	12	6	3
家(住むところ)のこと	5	3	3	0
介護・福祉のサービス	8	1	0	1
在留資格(ビザ)	5	2	0	1
近所のつきあい	5	2	0	0
結婚・離婚・DV(家族の暴力)	3	1	0	0
その他	4	2	0	0
特にない	20	9	1	0
無回答	4	1	0	1
回答数/回答者数	206/74	90/36	28/15	13/4

質問11 仕事で困っていることは何ですか。(複数回答)

項目	回答数	割合
仕事をどうやって探すかわからない	9	8.3%
仕事が見つからない	11	10.2%
日本語やルールがわからない	7	6.5%
外国人はだめと断られた	13	12.0%
仕事を探す時に通訳がない	4	3.7%
残業が多い	3	2.8%
給料が安い	18	16.7%
社会保険に入っていない	2	1.9%
正社員になれない	13	12.0%
職場で仲よくなれない	4	3.7%
相談するところがない	14	13.0%
無回答	3	2.8%
その他	7	6.5%
回答者数	108	100%

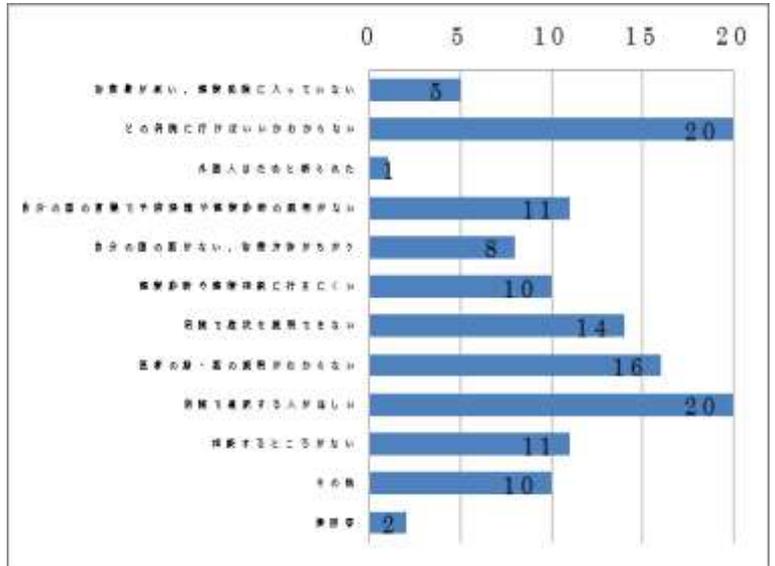


質問11 「相談するところがない」を選んだ外国人の外国相談窓口の認識度

項目	相談したことがある	相談したことはないけど知っている	知らない
相談するところがない	3	5	6
回答数/回答者数	3/14	5/14	6/14

質問12 病気やけがで困っていることはありますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
治療費が高い、健康保険に入っていない	5	3.9%
どの病院に行けばいいかわからない	20	15.6%
外国人はだめと断られた	1	0.8%
自分の国の言葉で予防接種や健康診断の説明がない	11	8.6%
自分の国の薬がない、治療方法がちがう	8	6.3%
健康診断や健康相談に行きにくい	10	7.8%
病院で症状を説明できない	14	10.9%
医師の話・薬の説明がわからない	16	12.5%
病院で通訳する人がほしい	20	15.6%
相談するところがない	11	8.6%
その他	10	7.8%
無回答	2	1.6%
回答者数	128	100%

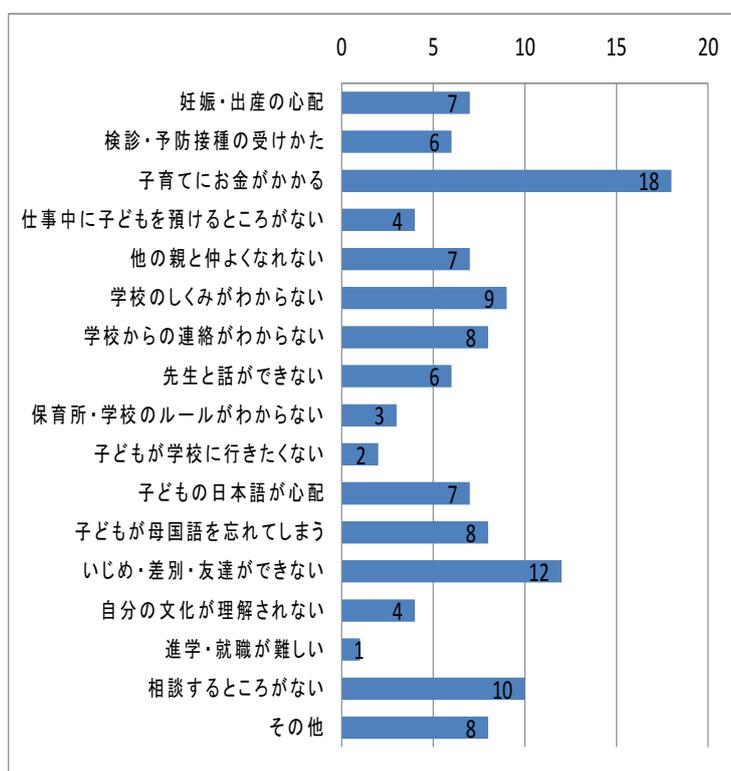


質問12 「相談するところがない」を選んだ外国人の外国相談窓口の認識度

項目	相談したことがある	相談したことはないけど知っている	知らない
相談するところがない	1	3	7
回答数/回答者数	1/11	3/11	7/11

質問13 子育てで困っていることはありますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
妊娠・出産の心配	7	5.8%
検診・予防接種の受けかた	6	5.0%
子育てにお金がかかる	18	15.0%
仕事に子どもを預けるところがない	4	3.3%
他の親と仲よくなれない	7	5.8%
学校のしくみがわからない	9	7.5%
学校からの連絡がわからない	8	6.7%
先生と話ができない	6	5.0%
保育所・学校のルールがわからない	3	2.5%
子どもが学校に行きたくない	2	1.7%
子どもの日本語が心配	7	5.8%
子どもが母国語を忘れてしまう	8	6.7%
いじめ・差別・友達ができない	12	10.0%
自分の文化が理解されない	4	3.3%
進学・就職が難しい	1	0.8%
相談するところがない	10	8.3%
その他	8	6.7%
回答者数 53人	120	100%



質問13 「相談するところがない」を選んだ外国人の外国相談窓口の認識度

項目	相談したことがある	相談したことはないけど知っている	知らない
相談するところがない	2	4	4
回答数/回答者数	2/10	4/10	4/10

質問10の状況と分析

「病気・けが」、「仕事」、「子どものこと」を合わせて5割となっている。続いて、「税金・年金」、「日本語」となっているが、「特にない」割合も高くなっている。

年代別では、20歳～29歳で「日本語」の割合が最も高く、30歳～39歳では「子どものこと」の割合が高い。40歳以降の年代では、「病気・けが」が高くなっており、ライフスタイルによって困っていることが異なっている。

また、「特にない」を選択した外国人は、40歳～49歳、50歳～59歳を中心としており、やさしい日本語の回答者が多く、日本人と生活している家庭の外国人市民が多くなっていることから、ある程度年齢を重ね、日本語ができる外国人市民は生活するうえで困っていることが少ない。

質問11の状況と分析

質問10で「仕事」を選択した55人のうち「給料が安い」の割合が高くなっており、続いて、「相談するところがない」、「外国人はだめと断られた」、「正社員になれない」となっている。

「相談するところがない」を選んだ外国人市民のうち外国人相談窓口の存在を知らない割合が最も高く、周知の努力が必要である。

質問12の状況と分析

質問10で「病気・けが」を選択した61人のうち「どの病院に行けばいいかわからない」、「病院で通訳する人がほしい」、「医者のお話・薬の説明がわからない」の割合が高くなっており、言葉の問題で困っている外国人市民が4割いる。

症状にあった病院を紹介できるよう情報を提供すると共に、病院・医院などと連携を深めた支援・応援策を検討する必要がある。

また、「相談するところがない」を選んだ外国人市民のうち外国人相談窓口の認識度は「相談したことがある」、「相談したことはないけど知っている」を合わせても認識度は低く、別の方法で外国人相談窓口の周知努力が必要である。

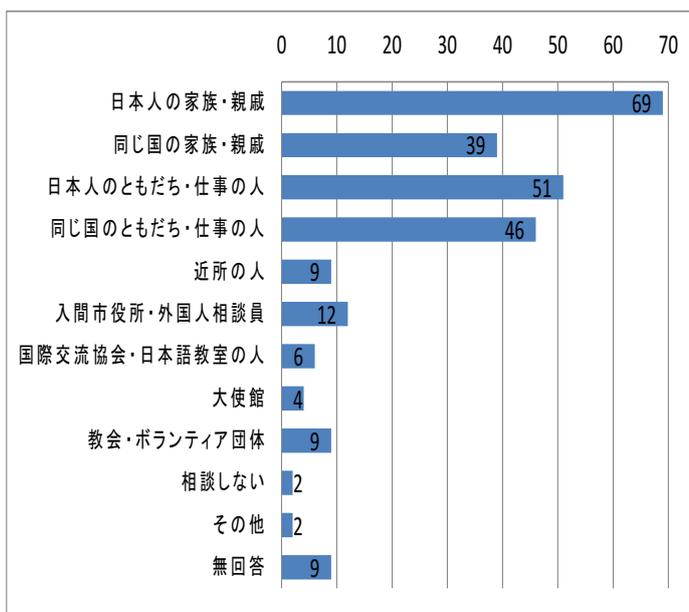
質問13の状況と分析

質問10で「子どものこと」を選択した53人のうち「子育てにお金がかかる」の割合が最も高くなっている。続いて「いじめ・差別・友達ができない」の割合が高くなっており、ガイダンスなどを実施して、解決の場を提供することも必要である。

また、「相談するところがない」を選んだ外国人市民の外国人相談窓口の認識度は、「相談したことはないけど知っている」、「知らない」の割合が高くなっており、外国人相談窓口の周知努力が必要である。

質問14 困ったとき、誰に相談をしますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
日本人の家族・親戚	69	26.7%
同じ国の家族・親戚	39	15.1%
日本人のともだち・仕事の人	51	19.8%
同じ国のともだち・仕事の人	46	17.8%
近所の人	9	3.5%
入間市役所・外国人相談員	12	4.7%
国際交流協会・日本語教室の人	6	2.3%
大使館	4	1.6%
教会・ボランティア団体	9	3.5%
相談しない	2	0.8%
その他	2	0.8%
無回答	9	3.5%
回答者数 129人	258	100%



質問14 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
日本人の家族・親戚	7	20	22	16	2	2
同じ国の家族・親戚	5	11	10	10	2	0
日本人のともだち・仕事の人	10	14	11	10	3	3
同じ国のともだち・仕事の人	8	14	12	10	1	1
近所の人	2	2	1	4	0	0
入間市役所・外国人相談員	2	0	3	3	1	3
国際交流協会・日本語教室の人	0	2	1	2	0	1
大使館	0	0	1	1	2	1
教会・ボランティア団体	0	2	2	4	0	1
相談しない	0	0	0	1	1	0
その他	0	1	0	1	0	1
無回答	2		2	3	0	1
回答数/回答者数	36/19	66/33	65/33	65/32	12/6	14/5

質問14 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
日本人の家族・親戚	49	20
同じ国の家族・親戚	21	18
日本人のともだち・仕事の人	35	16
同じ国のともだち・仕事の人	29	17
近所の人	5	4
入間市役所・外国人相談員	8	4
国際交流協会・日本語教室の人	3	3
大使館	3	1
教会・ボランティア団体	2	7
相談しない	1	1
その他	1	1
無回答	5	4
回答数/回答者数	162/79	96/50

質問14 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
日本人の家族・親戚	56	6	3	4
同じ国の家族・親戚	18	15	4	2
日本人のともだち・仕事の人	21	18	11	1
同じ国のともだち・仕事の人	22	14	9	1
近所の人	5	3	1	0
入間市役所・外国人相談員	4	2	4	2
国際交流協会・日本語教室の人	0	4	2	0
大使館	3	1	0	0
教会・ボランティア団体	2	4	2	1
相談しない	2	0	0	0
その他	1	2	0	0
無回答	4	4	0	0
回答数/回答者数	138/74	73/36	36/15	11/4

困ったときの相談者は、「日本人の家族・親戚」、「日本人の友達・仕事の人」、「同じ国の友達・仕事の人」、「同じ国の家族・親戚」となっており、身内に相談する外国人市民は8割を占めている。

年代別では、20歳～29歳、60歳～69歳、70歳より上で「日本人のともだち・仕事の人」の割合が高く、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「日本人の家族・親戚」が高くなっている。

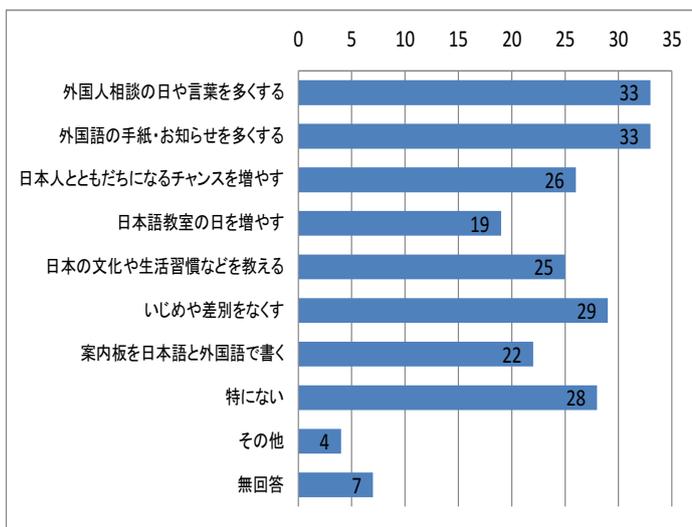
調査の言語別では、やさしい日本語と外国語ともに「日本人の家族・親戚」が高くなっている。

同居者別では、日本人世帯は「日本人の家族・親戚」が最も割合が高く、外国人世帯とひとり暮らし世帯では「日本人のともだち・仕事の人」が高い。

日本人と生活している家庭では、「日本人の家族・親戚」に相談しており、外国人と生活している家庭では「日本人のともだち・仕事の人」に相談している傾向にあり、日本人に相談し問題を解決している。

質問15 入間市にしてほしいことはありますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
外国人相談の日や言葉を多くする	33	14.6%
外国語の手紙・お知らせを多くする	33	14.6%
日本人と友達になるチャンスを増やす	26	11.5%
日本語教室の日を増やす	19	8.4%
日本の文化や生活習慣などを教える	25	11.1%
いじめや差別をなくす	29	12.8%
案内板を日本語と外国語で書く	22	9.7%
特にない	28	12.4%
その他	4	1.8%
無回答	7	3.1%
回答者数 129人	226	100%



質問15 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
外国人相談の日や言葉を多くする	3	7	14	8	1	0
外国語の手紙・お知らせを多くする	4	9	9	9	2	0
日本人と友達になるチャンスを増やす	8	8	4	4	2	0
日本語教室の日を増やす	5	9	2	3	0	0
日本の文化や生活習慣などを教える	5	7	4	7	2	0
いじめや差別をなくす	3	9	7	6	1	2
案内板を日本語と外国語で書く	5	8	5	3	1	0
特にない	4	7	8	7	1	0
その他	0	1	1	0	0	2
無回答	37	2	1	2	0	2
回答数/回答者数	74/19	67/33	55/33	49/32	10/6	6/5

質問15 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
外国人相談の日や言葉を多くする	13	20
外国語の手紙・お知らせを多くする	13	20
日本人と友達になるチャンスを増やす	19	7
日本語教室の日を増やす	8	11
日本の文化や生活習慣などを教える	13	12
いじめや差別をなくす	20	9
案内板を日本語と外国語で書く	11	11
特にない	22	6
その他	4	0
無回答	3	4
回答数/回答者数	126/79	100/50

質問15 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
外国人相談の日や言葉を多くする	19	8	3	3
外国語の手紙・お知らせを多くする	18	10	1	4
日本人と友達になるチャンスを増やす	11	11	4	0
日本語教室の日を増やす	11	4	4	0
日本の文化や生活習慣などを教える	11	10	2	2
いじめや差別をなくす	17	9	2	1
案内板を日本語と外国語で書く	13	7	1	1
特にない	18	7	3	0
その他	2	1	1	0
無回答	4	2	1	0
回答数/回答者数	124/74	69/36	22/15	11/4

質問15 国籍別の割合

項目	外国人相談の日や言葉を多くする	外国相談窓口で相談したことがある	相談したところが無いけど、知っている	知らない
中国	7	4	18	19
フィリピン	12	5	9	10
韓国	0	0	2	10
ブラジル	4	1	1	6
ペルー	3	2	0	3
タイ	2	1	2	2
米国	0	1	5	0
ベトナム	1	0	2	5
ネパール	0	0	1	0
台湾	0	0	1	4
その他	4	2	5	6
無回答	0	0	0	1
回答者数	33	16	46	66

「外国人相談の日や言葉を多くする」の割合が最も高く、「外国語の手紙・お知らせを多くする」、「いじめや差別をなくす」、「特にない」の割合も高めであった。

年代別では、20歳～39歳では、「日本人とともだちになるチャンスを増やす」や「日本語教室の日を増やす」の割合が高く、40歳～49歳以上は「外国人相談の日や言葉を多くする」や「外国語の手紙・お知らせを多くする」の割合が高くなっており、外国人相談窓口の充実を望んでいる。

回答言語別では、やさしい日本語の回答者は「特にない」の割合が最も高く、外国語の回答者は「外国人相談の日や言葉を多くする」、「外国語の手紙・お知らせを多くする」の割合が最も高くなっており、やさしい日本語の回答者は入間市に望むものは少ないが、外国語での回答者は外国人相談窓口の充実を望んでいる。

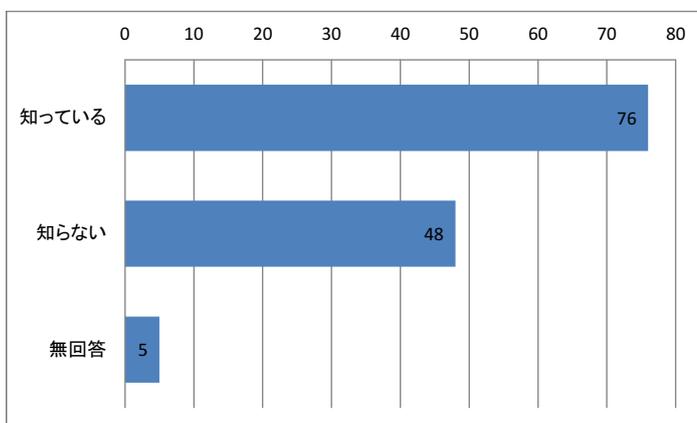
同居者別では、日本人世帯は「外国人相談の日や言葉を多くする」が最も割合が高く、外国人世帯とひとり暮らしともに「日本人とともだちになるチャンスを増やす」が高くなっている。ひとり暮らし世帯では、「日本語教室の日を増やす」の割合も高く、日本語を学ぶ環境を求めている。

週一回、英語・スペイン語の相談窓口を実施しているが、「外国人相談窓口の日や言葉を多くする」の割合が高い。国別では「フィリピン人」、「中国人」の順となっており、タガログ語（英語）、中国語での外国人相談窓口を希望する外国人市民が多く、韓国人、米国人、ネパール人、台湾人は希望する外国人市民はいなかった。

外国人相談窓口を知らない方が多いことから身内で問題解決をしており、外国人相談窓口の周知をはじめ、相談日数や言語の増設を検討する必要がある。

質問16 自分の家の近くの避難する場所を知っていますか。

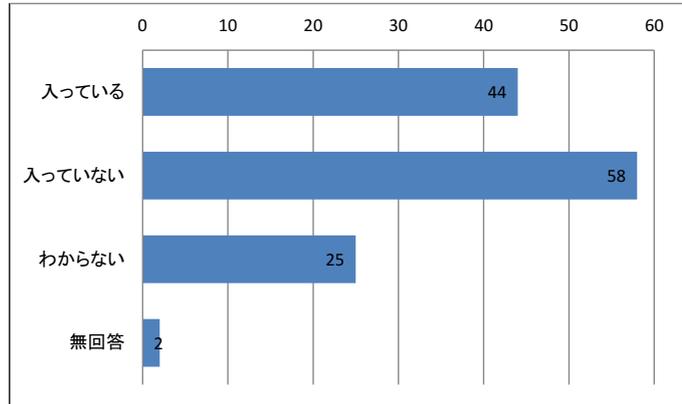
項目	回答数	割合
知っている	76	58.9%
知らない	48	37.2%
無回答	5	3.9%
回答者数 129 人	129	100%



4. 多文化共生の地域づくりと交流

質問17 自治会に入っていますか。

項目	回答数	割合
入っている	44	34.1%
入っていない	58	45.0%
わからない	25	19.4%
無回答	2	1.6%
回答者数 129人	129	100%



質問17 年齢別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
入っている	3	9	11	16	2	3
入っていない	10	18	17	9	2	1
わからない	6	6	5	6	1	1
無回答	0	0	0	1	1	0
回答者数	19	33	33	32	6	5

質問17 在住期間別の割合

項目	2000年より前	2001年～2005年	2006年～2010年	2011年～2013年	2014年	2015年
入っている	12	15	7	8	0	2
入っていない	12	3	11	18	3	11
わからない	4	3	6	3	3	6
無回答	0	0	1	1	0	0
回答者数	28	21	25	30	6	19

質問17 国籍別の割合

項目	中国	フィリピン	韓国	ブラジル	ペルー	タイ	米国	ベトナム	ネパール	台湾	その他
入っている	19	9	4	0	1	0	4	1	0	3	3
入っていない	16	12	4	6	2	4	1	3	0	2	7
わからない	6	3	4	0	2	1	1	3	1	0	4
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
回答者数	41	24	12	7	5	5	6	7	1	6	14

質問17 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
入っている	33	8	1	2
入っていない	31	17	8	2
わからない	9	10	6	0
無回答	1	1	0	0
回答者数	74	36	15	4

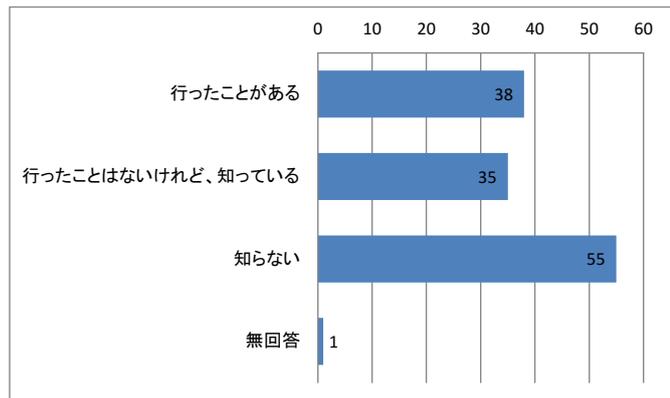
「入っていない」は45%で最も割合が高かった。また、「わからない」と合わせると69人(64.4%)となっており、地域の情報が取得できていない可能性がある。

年代別では、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳は「入っていない」の割合が高く、在住期間別では、2006年以降は「入っていない」の割合が高くなっている。国籍別では、米国、台湾は「入っている」の割合が高いが、韓国は「入っている」と「入っていない」の割合が同じであった。その他の国では「入っていない」の割合が高い。同居者別では、外国人世帯、ひとり暮らし世帯は「入っていない」の割合が高くなっている。

自治会に入っていない外国人市民が多いことから、自治会への加入について促していきたい。

質問18A 日本語教室を知っていますか。

項目	回答数	割合
行ったことがある	38	29.5%
行ったことはないけれど、知っている	35	27.1%
知らない	55	42.6%
無回答	1	0.8%
回答者数 129人	129	100%



【年代別】

質問18A 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
行ったことがある	3	9	11	16	3	2
行ったことはないけれど、知っている	10	18	17	9	1	2
知らない	6	6	5	6	1	1
無回答	0	0	0	1	0	1
回答者数	19	33	33	32	5	6

質問18A 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
行ったことがある	28	10
行ったことはないけれど、知っている	20	15
知らない	30	25
無回答	1	0
回答者数	79	50

質問18A 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
行ったことがある	23	10	4	1
行ったことはないけれど、知っている	22	7	5	1
知らない	28	19	6	2
無回答	1	0	0	0
回答者数	74	36	15	4

質問18A 在住期間別の割合

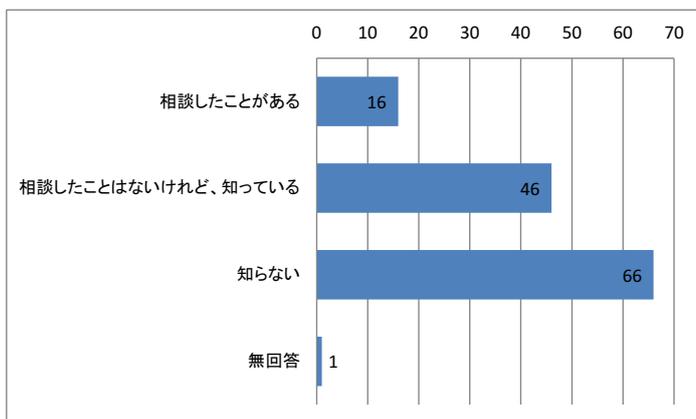
項目	2000年より前	2001年～ 2005年	2006年～ 2010年	2011年～ 2013年	2014年	2015年
行ったことがある	9	10	6	7	2	4
行ったことはないけれど、知っている	8	8	9	3	1	6
知らない	11	3	9	20	3	9
無回答	0	0	1	0	0	0
回答者数	28	21	25	30	6	19

日本語教室を「知らない」と回答した外国人市民は55人(42.6%)と割合が高い。

在住期間別では、在住期間が短期間ほど日本語教室を「知らない」の割合が高く、外国語の回答者や外国人と生活している家庭でも「知らない」が多くなっており、日本語教室の周知が必要であり、今以上に周知活動が求められている。

質問18B 外国人相談窓口を知っていますか。

項目	回答数	割合
相談したことがある	16	12.4%
相談したことはないけれど知っている	46	35.7%
知らない	66	51.2%
無回答	1	0.8%
回答者数 129人	129	100%



質問18B 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
相談したことがある	3	1	4	6	1	1
相談したことはないけれど知っている	2	13	18	11	1	1
知らない	14	19	11	14	4	3
無回答	0	0	0	1	0	0
回答者数	19	33	33	32	6	5

質問18B 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
相談したことがある	8	8
相談したことはないけれど知っている	32	14
知らない	38	28
無回答	1	0
回答者数	79	50

質問18B 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
相談したことがある	10	2	3	1
相談したことはないけれど知っている	31	12	1	2
知らない	32	22	11	1
無回答	1	0	0	0
回答者数	74	36	15	4

質問18B 在住期間別の割合

項目	2000年より前	2001年～2005年	2006年～2010年	2011年～2013年	2014年	2015年
相談したことがある	9	2	0	2	0	3
相談したことはないけれど知っている	10	13	10	9	3	1
知らない	9	6	14	19	3	15
無回答	0	0	1	0	0	0
回答者数	28	21	25	30	6	19

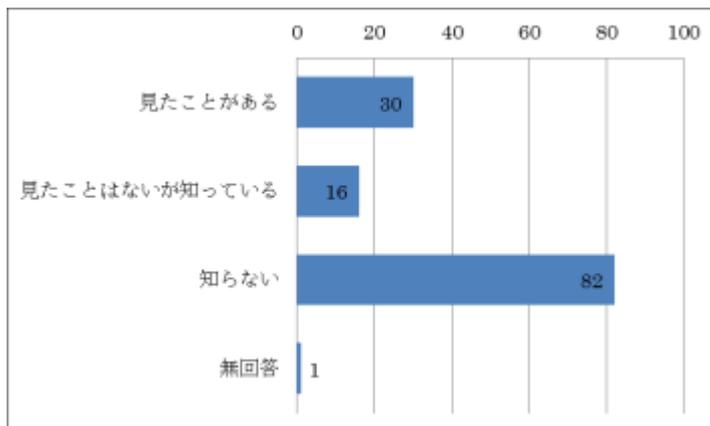
外国人相談窓口を「知らない」と回答した外国人市民は66人(51.2%)と割合が高い。

年代別では各年代で「知らない」の割合が高く、回答言語別では外国語の回答者の割合が高くなっている。

同居者別ではひとりで暮している家庭や外国人と生活している家庭で「知らない」の割合が高くなっており、外国語の回答者や外国人世帯では「知らない」の割合が高くなっており、外国人相談窓口の周知が必要であり、今以上に周知活動が求められている。

質問18C 入間市政情報紙『IRUMA COM+COM』を知っていますか。

項目	回答数	割合
見たことがある	30	23.3%
見たことはないが知っている	16	12.4%
知らない	82	63.6%
無回答	1	0.8%
回答者数 129人	129	100%



質問18C 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
見たことがある	2	8	7	10	1	2
見たことはないが知っている	4	3	2	6	1	0
知らない	13	22	24	15	4	3
無回答	0	0	0	1	0	0
回答者数	19	33	33	32	6	5

質問18C 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
見たことがある	19	11
見たことはないが知っている	8	8
知らない	51	31
無回答	1	0
回答者数	79	50

質問18B 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
見たことがある	17	8	4	1
見たことはないが知っている	8	4	2	2
知らない	48	24	9	1
無回答	1	0	0	0
回答者数	74	36	15	4

質問18C 在住期間別の割合

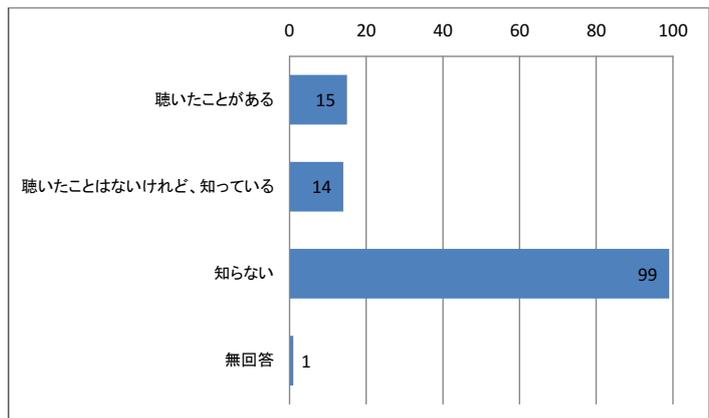
項目	2000年より前	2001年～ 2005年	2006年～ 2010年	2011年～ 2013年	2014年	2015年
見たことがある	9	9	4	3	2	3
見たことはないが知っている	3	4	3	2	0	4
知らない	16	8	17	25	4	12
無回答	0	0	1	0	0	0
回答者数	28	21	25	30	6	19

IRUMA COM+COM(外国語版市政情報紙)を「知らない」と回答した外国人市民は82人(63.6%)と割合が高い。年代別では全体的に「知らない」の割合が高くなっており、回答言語別及び同居者別でも各項目で「知らない」の割合が高い。

IRUMA COM+COM(外国語版市政情報紙)の認知度が低いため、今以上に周知活動が求められている。

質問18D FM CHAPPYの外国語放送『エフビーアイ』を知っていますか。

項目	回答数	割合
聞いたことがある	15	11.6%
聞いたことはないけれど、知っている	14	10.9%
知らない	99	76.7%
無回答	1	0.8%
回答者数 129人	129	100%



質問18D 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
聞いたことがある	1	2	6	6	0	0
聞いたことはないけれど、知っている	1	4	2	5	0	2
知らない	17	27	25	20	6	3
無回答	0	0	0	1	0	0
回答者数	19	33	33	32	6	5

質問18D 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
聞いたことがある	12	3
聞いたことはないけれど、知っている	7	7
知らない	59	40
無回答	1	0
回答者数	79	50

質問18D 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
聞いたことがある	10	3	2	0
聞いたことはないけれど、知っている	6	4	3	1
知らない	57	29	10	3
無回答	1	0	0	0
回答者数	74	36	15	4

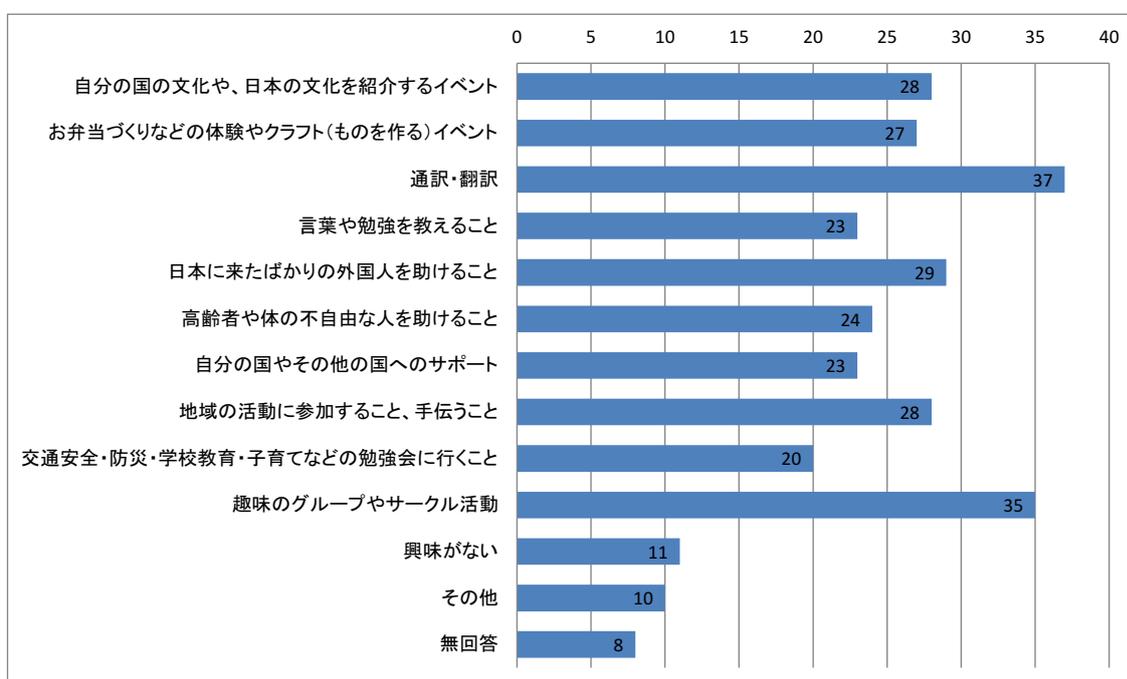
質問18D 在住期間別の割合

項目	2000年より前	2001年～ 2005年	2006年～ 2010年	2011年～ 2013年	2014年	2015年
聞いたことがある	8	4	1	0	0	2
聞いたことはないけれど、知っている	5	3	2	1	2	1
知らない	15	14	21	29	4	16
無回答	0	0	1	0	0	0
回答者数	28	21	25	30	6	19

FM CHAPPYの外国語放送『エフビーアイ』を「知らない」と回答した外国人市民は99人(76.7%)で割合が高い。年代別、同居者別、回答言語別及び居住期間別の各項目で「知らない」の割合が高くなっている。FM CHAPPYの外国語放送『エフビーアイ』の認知度が低いため、今以上に周知活動が求められている。

質問19 『やってみたい』『参加したい』ことはありますか。(複数回答)

項目	回答数	割合
自分の国の文化や、日本の文化を紹介するイベント	28	9.2%
お弁当づくりなどの体験やクラフト(ものを作る)イベント	27	8.9%
通訳・翻訳	37	12.2%
言葉や勉強を教えること	23	7.6%
日本に来たばかりの外国人を助けること	29	9.6%
高齢者や体の不自由な人を助けること	24	7.9%
自分の国やその他の国へのサポート	23	7.6%
地域の活動に参加すること、手伝うこと	28	9.2%
交通安全・防災・学校教育・子育てなどの勉強会に行くこと	20	6.6%
趣味のグループやサークル活動	35	11.6%
興味がない	11	3.6%
その他	10	3.3%
無回答	8	2.6%
回答者数 129人	303	100%



質問19 年代別の割合

項目	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳より上
自分の国の文化や、日本の文化を紹介するイベント	5	12	5	5	1	0
お弁当づくりなどの体験やクラフト(ものを作る)イベント	5	14	4	3	0	1
通訳・翻訳	8	12	9	7	0	0
言葉や勉強を教えること	4	8	6	5	0	0
日本に来たばかりの外国人を助けること	8	10	4	7	0	0
高齢者や体の不自由な人を助けること	4	6	7	5	1	1
自分の国やその他の国へのサポート	6	9	4	3	1	0
地域の活動に参加すること、手伝うこと	4	9	4	8	1	2
交通安全・防災・学校教育・子育てなどの勉強会に行くこと	5	9	2	4	0	0
趣味のグループやサークル活動	6	11	6	9	1	1
興味がない	1	2	3	3	1	1
その他	0	1	5	3	1	0
無回答	0	2	2	2	1	1
回答数/回答者数	56/19	105/33	61/33	64/32	8/6	7/5

質問19D 回答言語別の割合

項目	やさしい日本語の回答数	外国語の回答数
自分の国の文化や、日本の文化を紹介するイベント	21	7
お弁当づくりなどの体験やクラフト(ものを作る)イベント	18	9
通訳・翻訳	30	7
言葉や勉強を教えること	13	10
日本に来たばかりの外国人を助けること	24	5
高齢者や体の不自由な人を助けること	14	10
自分の国やその他の国へのサポート	15	8
地域の活動に参加すること、手伝うこと	16	12
交通安全・防災・学校教育・子育てなどの勉強会に行くこと	12	8
趣味のグループやサークル活動	22	13
興味がない	4	7
その他	7	3
無回答	4	4
回答数/回答者数	200/79	103/50

質問19 同居者別の割合

項目	日本人と生活している家庭	外国人と生活している家庭	ひとりで暮している家庭	混合世帯
自分の国の文化や、日本の文化を紹介するイベント	15	11	2	0
お弁当づくりなどの体験やクラフト(ものを作る)イベント	15	8	3	1
通訳・翻訳	24	11	1	1
言葉や勉強を教えること	16	4	1	2
日本に来たばかりの外国人を助けること	17	4	6	1
高齢者や体の不自由な人を助けること	13	6	2	3
自分の国やその他の国へのサポート	14	6	3	0
地域の活動に参加すること、手伝うこと	12	14	1	1
交通安全・防災・学校教育・子育てなどの勉強会に行くこと	10	9	0	1
趣味のグループやサークル活動	17	10	8	0
興味がない	7	4	0	0
その他	7	2	1	0
無回答	5	2	1	0
回答数/回答者数	172/74	91/36	29/15	10/4

質問19 在住期間別の割合

項目	2000年より前	2001年～ 2005年	2006年～ 2010年	2011年～ 2013年	2014年	2015年
自分の国の文化や、日本の文化を紹介するイベント	2	3	7	9	1	6
お弁当づくりなどの体験やクラフト(ものを作る)イベント	2	4	8	7	0	6
通訳・翻訳	6	5	12	9	1	4
言葉や勉強を教えること	0	5	5	9	1	3
日本に来たばかりの外国人を助けること	5	4	7	6	1	6
高齢者や体の不自由な人を助けること	2	6	6	6	1	3
自分の国やその他の国へのサポート	3	3	6	5	2	4
地域の活動に参加すること、手伝うこと	4	4	5	8	2	5
交通安全・防災・学校教育・子育てなどの勉強会に行くこと	0	1	4	7	3	5
趣味のグループやサークル活動	8	6	4	8	2	7
興味がない	3	2	3	1	0	2
その他	3	3	2	2	0	0
無回答	3	1	1	1	1	1
回答者数	41	47	70	78	15	52

「通訳・翻訳」、「趣味のグループやサークル活動」、「日本に来たばかりの外国人を助けること」の順となっている。どの項目においても、約10%前後の方が「やってみたい」、「参加したい」としており、「興味がない」は、3.3%であった。年代別は20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳で「通訳・翻訳」の割合が高い。50歳以降は「趣味のグループやサークル活動」の割合は高くなっている。回答言語別では、やさしい日本語の回答者は「通訳・翻訳」の割合が高いが、外国語の回答者は「趣味のグループやサークル活動」の割合は高くなっている。

同居者別では、日本人世帯は「通訳・翻訳」の割合が高いが、外国人世帯とひとり暮らし世帯では「趣味のグループやサークル活動」の割合は高くなっている。在住期間別では2000年より前、2001年は「趣味のグループやサークル活動」の割合は高いが、2006年以降は「通訳・翻訳」、「自分の国の文化や、日本の文化を紹介するイベント」、「言葉や勉強を教えること」などの割合が高くなっている。

やさしい日本語の回答者や日本人と共に生活している家庭では「通訳・翻訳」の割合が高く、外国語の回答者や外国人と共に暮らす家庭では「趣味のグループやサークル活動」の割合は高くなっている。「通訳・翻訳」、「趣味のグループやサークル活動」で、地域へ自分の居場所を見つけ、地域活動をしてみたい外国人が多いたることがわかる。

回答言語別

【やさしい日本語】

入間市はきれいな町です。住みやすく便利です。

外国人の意見をちゃんと聞いて頂いて本当にありがとうございます。外国人にとって、不安やいろんなことが分からないこといっぱいあります。特に何があったとき誰と相談すればいいのか分からない。

お店が少なく、道が狭い

市民課が土曜日に一部の証明書などが発行できますが、年金、相談なども土曜日にできればいいと思います。

入間市の生活は楽しいです。日本語学習、文化交流、自動車学校を増やし、市報などを英語にしてほしい。

万燈まつりなどのイベントは、年2回あればいいです。色々な人と知り合うきっかけがほしいです。

環境が良いと思います。差別が無くなればいいと思います。

子供が日本語しか話せず母の国語ができない。中国語教室など作ってほしいです。家でもすべて日本語です。自分も中国語教室の手伝いをしたいと思います。

入間市はすごく住みやすい都市だといつも思っています。これからもずっと「心の故郷」になるように願っています。快適で安全な生活環境を守ってください。

外国人向けのすべての制度を知りたいです。また、子供の遊び場を増やしてほしい。図書館で英語の本を増やしてほしい。

自分が病気やけがになったとき、面倒や手伝いをしてくれる人がいません。日本人の配偶者は生活のため仕事をしなければならないです。自分の親戚は近くにいません。日本では迷惑をかけないようにする文化があるから日本の親戚に頼る訳にはいきません。本当に寂しいです。

もっと情報や交流会など案内を郵送してほしいです。お住まいや仕事の案内や紹介など交流の場を作ってほしいです。

日本に来た時、私は日本語が分からなく母は簡単な日本語しか分からなくて、不安がいっぱいの中、入間市役所で手続きをするときがありました。日本語が出来ないので、外国人相談窓口に相談したところ、手続きを手伝ってくれました。それから、母は怖がらずに一人で市役所に行って手続きをできるようになりました。本当に感謝をしています。日本に優しい方がいっぱいいるからこそ、私の母と私は安心して日本に暮らしています。

とても住みやすいですが、ひとり暮らしなので将来が不安です。色々な情報が知りたいです。

たくさんの人と友達になりたいです。

入間市大好き！長年入間市に住んでいて、少し日本語の勉強しています。

【英語での回答を翻訳したもの】

家の前に外灯がほしいです。特に夜間と冬の間は車や歩行にとっても暗く危険を感じます。自治会に話をしましたが聞き入れませんでした。できるだけ早いうちに外灯の設置をお願いします。

私は日本に住むことを幸せだと思います。安全ですし清潔です。日本人も大好きです。ただ、政府の法律にはいくぶん不満を感じますが、日本に住むことができ幸せです。

入間市での生活は私にとって住みやすいです。もし問題があるとすれば次の2点です。1つ目は何人かの医者に会いましたが、〇〇病院の先生は私の貧しい日本語にイライラしていました。2つ目はハンコ屋に行き2つのハンコを注文しました。私の名前を言うと外国の名前はできないと言われました。以前、違うハンコ屋作ってもらい問題がありませんでした。彼らの問題は理解できません。

自治会と町内会は私の国にはありません。理解して関わるが大変です。住民は外国人に多くを求めます。やらなければならないことが出来ないし（理解できないから）規則に従ないと私たちに説明するのではなく見下すような感じです。近隣の方々がいかに外国に住むことが大変なことであるかをより理解して下さることが助けになります。

入間市の人はとてもやさしい。助けてほしい時にはいつも助けてくれる。

特に病院で翻訳が必要だと思います。英語での通路標識や市役所からの英語でのアナウンスも必要です。

外国人相談窓口とそこで働く素晴らしい人達にどれほど感謝をしているかを伝えたいと思います。外国人相談員は私が知る人の中で最も問題解決能力のある人の一人で難しい状況も賢く上手く解決してくれます。相談窓口のすばらしいサービスを知らずに入間に暮らす外国人がいなくなることを願います。

【中国語での回答を翻訳したもの】

日本に来て13年目になって楽しく生活をしている。比較的的家庭は順調である。幸せ。自分は45歳で女の子が生まれて家庭円満です。

入間市はとても綺麗です。環境が安全。人が優しくて礼儀正しい。

私は入間市で生活をしています。市役所に対して関心があり、助けてくれる人に感謝をします。日本の病院で助けてもらった。日本の生活に満足している。

【スペイン語での回答を翻訳したもの】

入間市役所ありがとうございます。外国人市民のことを心配してくれてありがとうございます。

入間市は静かできれいな場所です。生活は楽です。私の周りの人はとても良い人達です。長い期間住みたいと願っています。

【ポルトガル語での回答を翻訳したもの】

入間市での生活はとても静かです。自分は普段、仕事をしているのでイベント・まつりに参加出来ない。市役所でやっていることに参加したいがどうやって参加すればいいかわからない。相談したいこともある。

できれば市役所でポルトガル語の通訳があればありがたい。相談したいこともあるし税金について話がしたい。できれば、週一回相談できればうれしい。ダメならば英語・スペイン語の相談があればうれしい。

自分の職場で差別を受けている。アパートに住んでいるところ、買い物など日本人に対して信じない。私だけなのか周りの人が不安である。

【韓国語での回答を翻訳したもの】

私は仏子駅の近くに住んでいますが、夜になると道が暗いです。特に仏子駅北口前からスーパーマーケット（ヤオコー）までは暗く危険だと思います。最近では仏子駅南口に外灯ができ明るくなって、とてもうれしいです。仏子駅北口も明るくなればうれしいです。

個人的な問題ですが、入間市がやってくれるとうれしいので話をします。現在、ダンボールのゴミは資源ゴミになっているが、2週に1回しか捨てられない。ビン缶は、スーパーマーケットの前で捨てられるがダンボールゴミは、集まったら大きくなるし、ゴミを出す日を忘れると2週間、待たなければなりません。今のゴミ収集はそのまま公民館・支所に空き場所があれば捨てられるようにしてほしい。集まったダンボールゴミは汚くなって結局ゴミに捨てることがあります。

最後に

市は入間市国際交流協会と協力して「日本語教室」や「外国人相談窓口」など多くの支援事業を行なっていますが、必ずしも提供する情報と外国人市民が求めている情報が一致しているとは限りません。

この調査でわかった結果は、外国人市民は多種多様な情報を求めており、日本人と共に生活をしていない家庭（外国人世帯）ほど日本語を学ぶ環境を求めていることも明らかになりました。

また、「日本語教室」や「外国人相談窓口」などの支援事業は認知度が低いため、各事業の周知活動を行うとともに、外国人市民へのさらなる支援・応援ができる取り組みを行います。

今後の取り組みを進めていく上での貴重な資料とするとともに、調査にご協力いただきました在住外国人の皆様には厚くお礼申し上げます。